

# 地球環境子ども村だより

No.47

令和2年4月10日(金) 発行



春も本番を迎えました。今年は記録的な暖冬だったこともあり、1週間ほど早く咲いた桜は、いつもより長く楽しめたようです。さて、新型コロナウイルスの流行は全世界的になり、日本でも罹患者が増え続けています。感染された方へは、一日も早くご回復されますようにお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルスの大流行が早く収束しますよう、願ってやみません。

ここ、子ども村がある亀岡市交流会館も新型コロナの影響で、5月6日まで施設の使用が停止となりました。4月5月のイベントも中止となりご迷惑をおかけします。再開後は更に、自然に親しむ素敵な企画をお届けしたいと思います。施設は閉じていますが、野外を散歩される方は、どうぞお越しください。野鳥の森の散策や、松ぼっくり峠越えなど、気分がリフレッシュしますよ♪(=^・^=)

## ◎これまでの行事報告(2月~3月)

### ふるさと Lovers2020 自然と文化の体験フェスタ

令和2年2月1日(土) 午前10時~午後3時

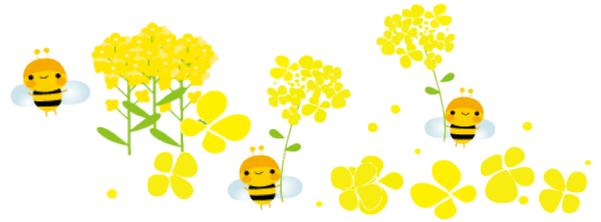
子ども村ブース 木の枝工作 体験者61名

「ふるさと Lovers2020 自然と文化の体験フェスタ」に参加しました。会場はガレリアかめおかです。地球環境子ども村のブースは、「木の枝工作」です。枝ぶりの良い木やマツボックリ、メタセコイアやヒマラヤ杉の球果を使い、ストラップなどクラフトを作ります。開始早々、2組のご家族が参加してくれました。好きな木の枝を選んでえんぴつ型ストラップを作ったり、メタセコイアに目玉を付けて妖精みたいな人形など、自由に作ってもらいました。

つぎつぎ参加者が増えて、席も満杯です。一番人気は、大王松の巨大マツボックリを使った、クリスマスツリー風のクラフトです。大人の方にも作ってもらいました。「玄関に飾る



どれを飾ろうかな? ↑



う!」と、作った方はとても嬉しそうでした。また、いろいろ工夫して、個性的な作品をつくる子もいます。目を輝かせ、集中して取り組む姿に、未来の可能性が感じられます。午後3時の終了間際まで、子ども村ブースはにぎわっていました。作品を持ち帰るみなさまの笑顔がうれしくて、私たちも充実した時を過ごさせて頂きました。

### 亀岡生き物大学 特別講座 「ピオトープで野鳥観察」

2月15日(土) 午前10時~正午 参加者:22名

講師:八木 昭氏(鳥類保護連盟京都)

まず、講師の八木さんより、子ども村で今の時期に見られる野鳥の説明があり、それから、バードコールを作りました。キュッ、キュッ、と良い音がするまで大きなヒートンを木の枝にねじ込み、リボンをつけて首から下げられるようにしました。子どもたちは、鳴らすのに夢中です。

早速、観察に出かけました。ピオトープに着くと、八木さんがエサを撒き、ヤマガラが集まってきました。観察小屋に2組ずつ入り、他の方は遠巻きにバードスコープで観察です。人がたくさん集まっているので最初は警戒していたヤマガラも、静かに待っていると1羽、2羽とエサ台にやって来ました。近くの枝に停まり様子をうかがってからエサ台のヒマワリの種をついばんでは飛んで行きます。とても素早いので、なかなかバードスコープで追い切れないくらいです。小屋の中で観察した方は「すぐそばで良く見れた!」「屋根の上の足音も聞こえた。」と興奮気味でした。「次は、5月頃、野鳥の巣箱での子育ての様子を観察します。」と八木さん、子ども村では継続して野鳥の観察に取り組んでいます。



バードスコープで観察、「見えた?」

野鳥の観察をしてみたい方は、地球環境子ども村  
(0771-26-6100)までご連絡下さい。

亀岡市交流会館  
クライミングウォール施設  
オープニングセレモニー



3月14日(土) 午前10時～11時 参加者：28名

地球環境子ども村のある亀岡市交流会館に新しい施設が出来ました。入り口のエントランスホールの吹き抜けの壁を使ったクライミングウォールです。名前は「カメロック」ロゴもカッコイイです。壁にはカラフルなホールドが配置され、手や足を使って壁を上がっていきます。初心者用のピンクのテープから、上級者用のオレンジのテープまで、上達すると難易度も上がっていきます。

オープニングセレモニー当日は、新型コロナウイルスの影響で、子どもたちの体験会が中止になってしまいとても残念でしたが、式典、テープカットを予定通り行いました。

桂川亀岡市長は、挨拶で「子どもたちがこの施設を利用してトレーニングし、世界に出ていけるようにしたい。」と、抱負を述べました。式典後、出席者の京都山岳連盟の湯浅

さんが軽く見本を見せてくれました。また、希望者にはハーネスとロープで体を固定し、安全に登る体験も行いました。4月1日から通常営業になり朝9時から夜の9時まで利用できるようになります。



オープニングセレモニー ↑

☆トピックス☆ 春ですよ～

晴れて暖かい午前中、石垣やレンガの間から、ニホントカゲがこんにちは！と顔を出します。私が近づくとヒュッと中に入って隠れてしまいました。トカゲは変温動物、寒い朝は日向ぼっこをして体温を上げます。冬眠から目覚め、元気な姿を見せてくれました。暖かくなると昆虫も増え、生まれてくる子どものエサも豊富になります。もうすぐ卵からかえった

ばかりの小さなトカゲが見られるかもしれません。



❁遊びに来たよ!来村報告❁

3月12日(木) 午前10時～午後1時半

千代川幼稚園 年中・年少・幼児組 参加者：70名

久しぶりの快晴です。先に到着した年中さん、年少さんはウッドデッキを上り菓草原へ、木でできた階段を上りまつぼっくり峠へ向かいました。春の日差しも眩しく、子どもたちは笑顔がいっぱいです。途中、まつぼっくりをたくさん拾いました。「外だと子どもたちの笑顔が違うわ～」と先生、新型コロナウイルス流行の影響で、ずっと室内遊びだったそうです。

幼児組さんは、少し遅れて到着、時折さえずる鳥の声に耳を澄ませ散歩です。野鳥の森の入り口のあずまやで一休み、メタセコイア並木を抜けドングリ広場に向かいました。そのころ、野鳥の森の奥から、年中、年少組さんが下りてきて、合流しました。最後に、ドングリ広場でドングリを拾ったり、小枝や落ち葉で遊んだり、思い思いに遊びました。キノコや虫を見つけたりと楽しい発見もありました。「また、来るね～」とバスから手を振って、園児たちは帰って行きました。



4月5月は新型コロナウイルスの影響で、子ども村の行事は全て中止になりました。とても残念ですが、流行が早く収束し通常通りに教室が開けるようにと願ってやみません。

罹患された方には、早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。次の行事や催しは、きらり☆亀岡おしらせや、地球環境子ども村のホームページとフェイスブックをご参照ください。詳しくは、地球環境子ども村へお問い合わせください。新型コロナの予防にマスクの着用、うがい、手洗いを忘れずに！この危機を乗り越えましょう！（文責：植木）

地球環境子ども村

〒621-0242 亀岡市宮前町神前長野15

TEL：0771-26-6100 Fax：0771-26-5002

Email：kodomomura@city.kameoka.lg.jp